

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



さいたま市立
田島小学校



校訓 『強い子、田島小学校』

強い頭 (学びの楽しさを育む) 強い心 (あたたかい心を育む)
強い体 (健康な心身を育む) 強い絆 (地域で育む)

《学校教育目標》

心豊かである子

・進んで学習する子 ・思いやりのある子 ・健康で明るい子



■所在地：さいたま市桜区田島 10-12-1

■電話：048-863-8122

■FAX：048-836-1578

■交通：JR 西浦和駅徒歩 15 分

01 豊かな自然環境を生かした栽培活動・環境教育の充実



本校は、学校ファーム、野鳥の森、学校のすぐ隣の荒川の土手等、自然豊かな環境に囲まれています。学校ファームでは、年間を通じて作物を栽培し、苗植え、水やり、収穫や観察等を行っています。「畑の先生（地域のボランティア）」の協力を得ながら、作物を作る喜び、大変さを実感すると共に収穫したものを家庭に持ち帰り、食べることで、残さずいただくことを大切にできる児童を育てています。また野鳥の森、土手、彩湖公園を活用し、季節ごとの植物や昆虫を見る・触れる採取する学習を通して、豊かな自然をこれからも守っていかうとする気持ちを高めていきたいと考えています。こうした活動を通して SDGs の目標 12 「つくる責任つかう責任」、目標 15 「陸の豊かさを守ろう」に寄与していきたいと考えています。



02 学校給食から始める食品ロスへの取組(児童そして家庭へ)



児童の声を反映させた「夢の給食」「揚げパン総選挙」「スパゲティー総選挙」「カレー総選挙」では、アンケートをもとに献立を作成したり、給食で使うトウモロコシの皮むき体験を実施したりすること等を通して、児童が毎日の給食への関心をもてるような様々な企画を実施しています。昼の放送を活用し、食材についての説明を行い「残さずきれいに食べましょう」の合言葉を毎日伝えています。また、家庭への食に関する啓発として、給食試食会や毎月家庭でできる献立を給食だより等で発信するなど食事の大切さ、いろいろな食材を食べることへの意識付けを家庭の協力も得ながら実践しています。家庭からは、「初めてこの食材を使いました」、「子どもが苦手としていた野菜を、教えていただいたレシピで作ったら、おいしいと言って完食しました」などという声をいただきました。このような取組を行ってきたことで、学校においては、昨年度の残食率が平均 2.3% 以下など、効果が始まっています。この取組を継続し、食の大切さを伝えるとともに、第 6 学年の総合的な学習の時間におけるユニセフの活動を学習する際に、国際協力の大切さにつなげていきたいと考えています。こうした活動を通して、SDGs の目標 2 「飢餓をゼロに」に寄与していきたいと考えています。